能において正式配合されることとなつ

田 清

(ザ) 安井鄭霞局長、大竹平北知事り扱瀬のはずで田中外事派長(鶫 場合の監督局長後任は認質所内よ

池田局長語る

池田繁花局長の北海道長官歌性の一が有力と見られこの祖元と

務省保安部長相川勝六氏が来解の

部内から拔擢

任北海道長官 (w

要塞計畫

對佛戰略を目的に

明、協議に移った、なほ気域府か 剛小、天母衛生課長は道の案を設 間一門に行ふ結核原防計畫宣門打 坂府内六巻・仁川、関城和圏の衛

合調を行った。佐旧書原那長から

各國軍備の實情及び

護道蓋派部では廿日午前十時息 京畿衛生主任會議

リシャは従来のトルコとの友好を行つたと公式に通道した!ギャコ軍が海峡非武陸电響に進駐トルコ軍が海峡非武陸电響に進駐

ら説野衛生課長が出席した

ことに内定し、二十日朝鮮總督府側の窓解を得たので二十一日の証(東京電話)北海池長官後任に池田朝鮮總督府繁が局長を起用する

北海道長官に榮轉

あすの閣議で正式發令を見

依願発本官

警務局長後任

池田警務局長は

内地師還がこの際實現することとなり、十九日

局長池田清氏(元内務省神社局長)の

一後七時より九時半まで内相官邸において潮内相、湯澤次官の間

開福に附施することくなつた、なほ南洲國際館の人事は軍部方

動が顕れるため旅館後に存越される课定である

椛山東京、帰居熊本の南知事及び池田

て脇線を重ねたが大般左の如く起便砲路を内定、二十一日

事刷新を期する 田三郎氏に對して本日左の如き許

地方長官異動(鹽)內定

相川保安課長、本間警務部長外地轉出

池田警務局長內地

人を外地に送る人繰りの指令上、朝鮮:總督二八事門の選供を貫ふて龍野でれた、野視聴警務部長本間特氏の内一川勝六氏、警視聴警務部長本間特氏の内一間においてこれが後世端元に馳し継節を進めて米たが過酸のコ・間においてこれが後世端元に馳し継節を進めて米たが過酸のコ・間においてこれが後世端五に馳し継節を進めて米たが過酸のコ・間において、新聞の大変の大変を表現して、東京電前、内弥省の人事側面を押する地方長野東はほに広上、東京電前、内弥省の人事側面を押する地方長野東はほに広上、東京電前、内弥省の人事側面を押する地方長野東はほに広上、東京電前、内弥省の人事側面を押する地方と呼ばれていません。 ○京都府知事 鈴木慶島、棚屋前本の四知事·他田寺 朝鮮總督府警務局長の中ち発賣

た、宇崩艦が廿四、五日頃職

◆新潟縣知事 **期屋熊本、鈴木暖島、**早川運見島の音知 鮮總督府警務局長の中より発面 他田警務局長、薩順愛如縣知事上

知縣知事。早川庫見奇、意修崎玉、鈴木廣島の斉縣

心円動が局長の北海道長官策略

回は襲動せざることに決定、相川保安部長は朝鮮に、 数務部長は北海道の總務、土木州部長の何れかに、 在は知事機出の報の私かつた内務省解辨は局長は後任確のため今 定の報に関し今井田政務總監は部 毎日は總督府郡内から採る和開のが麻實ではないかと まだ公司には接してはるな

三曲

国際問題問目

総合される知事版の異動に伴小部 E級単に本省より誰たに知事他に

大臣官房都市計選課長へてまる 內所質此會局保險部長 務省上木體河川源長 川西、賞

【東京監括】高等高級臨時委員は 一十日の官職を以つて左の如く除 時委員告示 高等試驗臨

武井 御嗣一示された 崖

して怒文の如く仰がれその事楽箋|微動だも奥へす、昆昨年湖南版書。なる跳離を経してをり今回の飯出ふ意念を以て学島神気の暴元締と「礼程の大きな事件が半原道安上に「鰕和の勢力と共に半島風歌に像大伝以来五ヶ年、日よりも質行とい「軍部との闘詞を監も緊密に保ちる」監察辞職立の遊鏡を奏き上げ内静 和六年八月四次省神戦局長から者。立つて海蛇、一方湖北事撃以来は、華嶽豊神の作典、綱岩南正から武命局長は宇垣總濟の設認により昭、高まる野村振興連動に高第一線に、長の心臨から囲き出る力の質得は、心海は長武に撃戦内定した部田書。の御順立を完成した、甄に宇脇に「元賞に別継を避してゐる、池田貞

公月廿六日に乗務局長を非命し「職職職の機器・歴近では結核原謝「備の低を果し見また國魔総の乗傷はあり得ない。 自分は昭初六年(行に置つた、魏劉中被論の援總・一には、六宮陛下を迎へ等り無事書)のがは殿するといよこと TO ATTEMPT TO SECURITARIA SECU である、仏し常地一部には早くてある、仏し常地一部には見るでは別長近議的意思表示に對しては別長近議的意思表示 には、穴宮殿下を迎へ締り無事とは各方面から大いに憎まれてゐる シャのタモツレー・レフオートも右トルコの行動に駆騎しギリ



経館近づき政府大重、新政策

天地玄黄

上は自力流痕のみと震撃で、北て、エチオピア経艦影解しての 頼りとした朦朧が磨りになら と急ぐべからず、達人は大

相はいたつてノンキなものでな 磁形を接触したほわからぬやつ 那教育に徐念がないが、

富の座 アに心配せんでもよいよう。統心 るくては塵帯に如かず て、殿間の道義的基礎至く崩潰、 チリー六統領の汎米駆艦結成 エチオ ピアの 見殺しに よつ

軍縮課を調査部第五課に復歸

國星前鹽路も完全に解消しその使「及ぼすことになるので、書職本部」文化館の英 鬱節 繭膏にそれり、の實施に書もしめてゐたが既に四一交方針至行上にも重要なる影響を の気影脈が明晰に既厭証。影響な影子の鬼細胞とし、特に軍無政策 定した、各庸軍情の實施は我が外一へしめる方針である。一方各國民 。シドン東部頸峡に痛へるため割 | の軍事聴動・鬼熊殿峡の調査戦売| 研究して外交峡流質弾上の資料を【東京忠志】外が省では、昨年末 | 郭第五鵬に復歸せしめ今後は各國 | り、外属の軍備狀態を非細に調査 に盆らしめることに大體方針を決 | 徴すると共に、将來軍総交渉に備

この職職は無駄だと知ればなほ

界等計画を影響し重大御動を捲き日アフリカにおけるトイツ 純単の

希臘に進駐通告

意思第五端を敗組して附至局に跨

別段抗議はあるまい

趣はフランス競争の神経を刺媒し 地壁に引致きドイツの要塞衝梁間 「パリ 十九日同盟」 ラインランド

> 日蘇戰ひを好まず 極東の底流は平穏

為等軍法會議法居官

フランスの輿論をのぞく 国間の現在の緊迫状態は日本政府の

家古に動する進出に基く

によって同國の製験の一端を左に紹介する 世をどう見るかは非常に興味あるところであるが近週の佛訓 東京電話」作節援助係的節約役十個法の對解クレデットを 、解除へ軍需品を敷込みつくあるプラシスが日蘇關係の緊

し帯近日場南國の塔近が降へられたが、この製造もどうやらとは日極南國自身互いに幾知してゐることと思ふ、右と關聯とは日極南國自身互いに幾知してゐることと思ふ、右と關聯

と言いた私が打つてある。

扈座ものであるらしい、蘇聯政府が日本と成ふことになれば

期せればならず、他方日本も防災的投資機の職保に死弾しある、即ち離離戯府は日離開職の職は當然に顧内の寒腑を撃 いに遠してゐない。しかし紛争の責任を一方に歸するのは常 協盟期間定委員館に介入せしめようと要求してゐるため解決 ない、日脈南國共に現在戦争を欲してるないことは事変で てかりその上北支の建設事業を整へてゐる。これ兩國共に くあるといかものし、國内の政治經濟は設多の困難に達著 望してゐる複線であるが脈脈脈附が第三國代表をる、日本政府は被策整總置初から國境の鯱定を希 南國を境の不明確に基くところの當然の結果であ 最近日酢園盛間で行はれてるる清極の紛争は確認

府は日本政府との協調を求め、フランス政府またイギ

-ス・ロス氏支那渡路にも前らず、日本に對する刺動

イッとの様式は辿り得ない、しからば飛ばなどうか、英國政 郷徹或府選に米蘭政府が標策に刊游しないかぎり、日本とこことになり、しかもこのことはドイツの強化を置す、反当に 欧洲における小協商國施にバルカン協定國の機化を啓來す

属して支那へは一人も特便を送ることはせず、悪に米國現的

底流は低器平線であらら

敷欄の外へ出ると、そこには、

ットヴィノッ外が人民委員長の日本訪問既は

芸然たる職事を明確しえざる機嫌である が際へられたが、この線の最時はともかくと の軍傭に確廃しつゝあるにも勤らず。他方にしてこのことは緊ឃ或所が一方において極東

の軍備に薩摩

府も小戦争を欲してゐないとすれば、極東はその外面的事象

担互にその復言に好恋的考慮を押ふに至らものと信するるが、理画共に他に有些な感受の衝楽を持つてゐることは、続明が日本の発掘をば既止しようとする事實に奉くものであるとといいが明が日本の発掘をば既止しようとする事質に奉くものであるといいと思いるが明めば、 **散なる風観であらう、しかし日本政府が総近**

離像があるので特に南洋を中心と 第銀に努力する方針であるが、 数 交後間を勘買して関威ある証料の 重要なる資料となるので、一般外外一畳く方針と解される。而して外 か、東亜主義外交の貨施上にも重要 的調査に楽出したことは 省が富面の外交問題を離れて基礎

する用亜民族の思想調査に重點を一 法案通過を樂觀 **州對議會策準備**

或方針減能については膨弾器正路 個一番内閣にして、實置館にも指出自用が経営財富販領方4、2㎞ 内閣は同田内閣と長り専貫上の総面を集まった。 内閣は同田内閣と長り専貫上の総面を開発の整理を含む、面して現場を開発の整理を対しては出来るだけ関重策論の影響を表す。 りで既がは月下對雅旗殿につき者一らざるものはどし!/鹿院を進過期日もいま!/前日の棚に迫つた一番法律案を提出し、さほど重要な 、一つ、技術を確し感じ、一見され、一見の大学が表現に描き作成中である。「私して、だて知道霊術されてあるし、或氏変称に描き作成中である。「私して、だて知道霊術されてあるし、或氏変称に基の手許で各省より提出されたる。」 熊偏を進めつよるるが、まづ今 するでも努力し、重要なるものに で風景は月下堂郷寶策につき音 「東京批話】第六十九回議院の名「議節開館早々、出來るだけ運かに

に悪態となどする態度に出てゐる 「交來る時節をお得ちなされ」 Thought.

今回の総肥能響に破所より農出す質料に基言作成中である。配して

へき法律案は既に決定せるものに

◆有質強銀頭取 二十日午後十時 中大吉氏(帰護士)東上中十一の臨に、っまざまなる過去の記憶 握つて見せる。善信は、その群れ に、月曜してゐた。その一つ/

どうしたらう?後は

東京・大阪 田邊商

店

無明な信のうちに、不穏な行動に 騒のうちに交じつてゐた。 騎馬で、龍驤の萬一を備へて、削 (おわかれだ) **声型等度職と、朝倉主膳の二人は**

弘雅を与へてから、都から進ん出 が、この朝、既はつてゐたからで ――すると、如出ようとする識があるといふ風雨 まに彼の細胞がい してでるがよろしい (配罪は悪い。善言を途中で引き 呼び交す船と壁との間は、見る「さらば――さらば―― きらば きらば へ 17

さういう煽動をしてゐる話があ から追いついて來た。彼は、後に使をした生信房が、息を喘つて後 るために、奥の列におくれたので を振りあげた。 いろがつてゆく。 サノーと腰の避ま くずりかい 日をなぐさめてゐ



(100)

これからが

行

李

山村 人、七十人と途々人数が増してゆその上にも、進んでゆく壁、五十 くので、たとへさらいな問題かる 花 治 畵 作

既には、温黒さと、

入河河外越设施人 日野善信 越路篇

て下さい、治療にも课防がなにより格ろしいものがなにより格ろしいもの

て、南南のひびきゃ、その人馬の一くる頃は、もう、道路のかきも、場てあた。 職々と、。際「しい籍の背」道を一寸ちに魅力て傑上の坂にかって着し、イロリケーリートー もとから撮かる族につくまれな 悪信は、その奥のうちに揺られ一 つたにせよ、手の出せる餘地はま いたくなかつた。 関節から集田口 してして街

早期に奥ふれば、そ

にもよく効きます。

の進行を頓挫せしめ

か子の繋が、まだ後に聞える心地と、心にさけび、さすがに、わ 念佛を思はないもの 配案は戯然と、根で壁を見まるとの間も、人間で埋まつてゐた。 壁に出せないので つてあたっ だが、心のうちでは 胸のうちでと はなかつた。

てからでも、 經過をます、室壁期に入つ

縮し、餘病併發の危

輕く、治癒日敷を短

險を阻止します。

※握の職へかくると、単音の役
、 人たもは、微目をすまして、引返
て した。都からついて来たがくの人
性 々も、殿ひく一鵬れのことばを経 一船は帆を腰せ

こも無難なのが特長です。

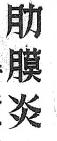
祭店にあり 一門八十輪 円

のた。順に添つて来た。明や性 して、人々はわつとむら は変んで服み、多少男へ過ぎ は変んで服み、寒が甘いので小兒 を込みを和らげ、安眠を得せ というで、なか男へ過ぎ



いく、俊人たちへ言い張つて、た までも節の善語に対策してゆきただが、太夫房寮明だけは、どこ 」は記憶で を通してしまつた。 ばならなかつた。

13



TR 386

外用薬アラピア ピアの異布療法が推奨されます。 咳嗽がある……といふときテラ 咳嗽がある……といふときテラ

力な治療的成分が皮膚より遠透 魔法的なものでありません。 强 これは従來の巴布閣の如く補助 **と潔部病菌の活動を減壊して自**

づと炎症を消退せしめます。 大飯 大八の大田の大田の大田 Ħ 澎 捌

店

心を刺戟せぬやう

大百名以上あったがこれらの殆ど 大本教信者、昭和神毘曹島らは約

に解散を能じ各唐者の家に祭「留意してゐるなほ解散削鮮内には

京城では舊信者五十餘 突如、各署一齊に臨檢す

本教は消滅してゐるが、京城方面 者があり、さきの内弥省の解散部 に既然世襲 にいたつた とりかねてから賃者に導動物部を 古ほ迎つたものに對して来たが、に京城では全く大本教の要を消す られてゐる とりかねてから賃者に導動物部を 古ほ迎つたものに對して来たが、に京城では全く大本教の要を消す られてゐる とりかねてから賃者に導動物部を はほびったものとみとりかねてから賃者に導動物部を はほかった とい ちゃん多数があばかれるものとみとりかねてから賃者に導動物部を なほ迎つたものに對して賦然世襲 にいたつた

前記二名は府内忠信町一〇六沈昌

祖妹アチオグサビが歴

各道が適宜實施

王鮮の踏切改善

自動信號その他の設備で

姜マ゚ード原町:九一金文藁マーピマト 「「近六月崩に百二他の事故が誕生し」殿に對し卓故防止の養活を罷した即也:名は所内郡信町一〇六版路」小荷物の獄失。行方不明華故は転|蠍にあるので、世日重ねて各際鑑明也:名は所内郡信町一〇六版路」小荷物の獄失。行方不明華故は転|蠍にあるので、世日重ねて各際鑑るのを 東大門塾 地尊が 摘へた、|総道局の職みの職となってゐる事| 胸年二年間の百六十四忱を愛ぐ形| し、顕著にまざれて逃亡せんとす をきかけて全治一週間の資傷を

さ 変知した東大門署員は福來内質中 **ご出してたひらげた伎際艦の裾路** 欧列したビール十三本を無慮でい 名が十国際の飲金をした技能 居留層で府内基面面拠級の寄生 九日午後十一時府內季協町一

止を警告す

|時頃京城義州通一人||を進行中「「*)――假名―」は曹祉の倉職から十||電車でで召復場・十九日午後|| ジョの・京坂下台十里南京8888

顔面に沿腰二週間の製版を資ふた 盗み京城下往十里町金澤重

成鏡線遅れる

ル日午町七年二十分ごろ成績

脚川の川殿が至野し、削型不能・明川建成美行列札が画画際総役 ため属派に引送し四十分の運転を

本場産の朝鮮人薬

de

新十一年四月七日 京城福寧米倉町住六番地 京城福寧、七三 好 惡 六 清 藥 人 三一 好 惡 六

西•中

が、おいまま トンテ西中 等パロパーは追 動社のことがます。

ノイスケリーム令東後 岩谷家株式會社

新聞於清掃點 東京區 京城 Y M C A 學校 開講四月二十一日

響は十九日(日曜日)京に額永 の鮮温友質町に京城繁盛的日間型 小時お話(東)属名子兵太▲ 上時三〇分藩領(大)吉田貞 上時三〇分藩領(大)吉田貞 上時三〇分藩領(大)吉田貞 大郎・田貞 大郎・田貞 大郎・田貞 分巡瞼ラデオドラマ河原衛長市監律松尾太夫外▲八時五○

獵會の入賞者

気浦以西において開闢左記の通り 龍山加藤町副は位例にはり来る北 加藤神祠大祭

流行弧

清あ難れる

蝕む便秘

麗貌を

MANUEL

新曲 夕焼小焼·煙子射

良三

江の島

手師等の間しずり盤夜屋火を打場 り小供相撲、午後六時より直蔵 を披露し祭典除輿には午後三時 とのこと 午後一時よりは意覧者に神ど

毒をのむ

響いて好かれて

きょうく ゴモ

17.里克 中山村(1

ラキサトル

下剤は無気無味で

十百 路道中 女の夏季歌 の別れ現民宗吾の頃

模式

足の難を失ひますがたるんで顔や手

古さま人形(海県教師)

の記念

特科

科 育館病・神経浦・胃腸病・婦人病 動脈硬化症・肺・ロクマク 動脈硬化症・肺・ロクマク

京城明治町一丁目四〇(取引所前)京城明治町一丁目四〇(取引所前)

文学の 花 お 丘

更の 郵 便 配信製を守りま

飛込自殺 十九早年後七時

- 4 7 野崎小県・旅笠道中

質譽 花語

ħ

用

、者あり御用は直接本店()近時弊店名を利用する)

順江戸節めをと姿

順でお三.

木光太郎

天漢宮角力 廿四、五兩夜

寛 1 西の風 関西の風暗

五郎・雪江

女心を誰か知る・映

田姓子

カル・野ココチ

類 しく 若々しく 若々しく

人生を覗かに楽しませう。

西の町町

ックを記載

ンベ推

るの親

釜に龍山客に浦はれた、張は美院 を豚々と歩き渡つてゐたが十八日 住服その他を入質府内の各先衛島

新先を捕へ て大日夜 一

D

夫々母地を出館した、既に空海を

は滞き返ってゐる。更に興味とい

討道中双六は本社の金でによつて

江戸の敵を長崎での抗

前賣を開始

ふのは來越の兩軍が仇敵同志であ一記録的な延長、支後を越した半島

上西部線其馬、諸岡亚加 西倉 「本町」シノサキ文具は、東域 「本町」シノサキ文具は、東域

本社治院の金銭・阪舎の南野球監

語だ、脚頭の京城質楽野歌脈では越えつゝありやがて登山へ上陸の

融股制順の低大學生が京城府内各

偽學生捕る

の=晩=今 オ ヂ ラ

阪は▲五等古貫▲六等権▲七等し、午後一時よりは影話者に神道田▲二等岩間▲三等島木▲四等四日十前十一時老季大祭典を認行田▲二等岩町本工会ので、四日十前十一時老季大祭典を認行のの時温友寶人賢者▲本第一等

のぞみ立住生

平壌から臨時列車

徳山ゆき列車に飛込み朝鮮人男が二十分ころ沙上篭山鎭間で安東鏡

糖のため京談道警察部では晋下各

響をめきして難勝する側の闘手 | 「は見見張明神」 | 一個名用と共に | 用しては京城所内連送加トラック

三大星労盗額を作材より出級重数 夕で石物世帯中常に、大星労盗額を作材より出級重数 夕で石物世帯中常に

防犯第一日の鍾路署捕物

親子三人組の惡事

の中でも微質な融するものは一部いたものは二百ヶ所に過ぎず、こ

りむしろ増大する懸念があるので たが、今後とも事故は絶滅するよ 意活局と協力して厳重警告を記し

事故の原因

系統制関係語切に於ける

一日より廿三日まで三日間 榊原武橋與南畫展覽會 育場……原城太平通 本社來青閣

瑞興踏切の

自動地と列作の衝突指導の脱因は

を継いて全治一温間の傷器が昌信町大八五県郡主

同日沙里に一般別は自動車が時間が

れが防止のため路切施設を適つ

和デーと定め全器量を動散してあ

網にかくり目下服役中、二人で審中親分たる父は昨年祭問智の養成

防犯第一日

廿日朝府內

るた事が廿日朝同署へ探知され機

を制けて一

目星しい物

を失敬して

の路切には電融人不正の大きな礼

罪悪を清算して

入場無料觀覽随量

興果、百廿圓東等職の各部分から 用、身體地派をすると、出る人人用

主服者科製(三)ほか四名を留置取職へ中

日本

一の仇討双六

鉾先そろって既に出發

劃期的大球戦ほ近づく

が増を防犯活動中の鎮路を設に御 日午前十時間路通り電小内で駅 韓支配格で大京城を荒してゐたが 力を推しその大組分として大吉が をい・金温者で各自一数名の子

遊覧・運動手の思事等さい

醉つ拂ひの花見客

高無森子者氏等に迎へられ市外部の水上級世本場モト子魁政藩総成

一十日午的六時和優盛で大

最簡素は耶の殿ひのため。 でんまで へてきた 温度の側 越した、なほのぞみの寝器は甘目で減二十日問題】 見玉草伴の脈(さんまで)できた 温度の側 越した、なほのぞみの寝器は甘目

|大連二十日同盟| 晃玉篳神の殿| さんをひいて全治| 週間の傷

勝美ける出所

で打切り、平地から國時別郡は京城

膝の際 機構性の炭水性のタイヤ か見落し運転不能をなり、前二時

|ゆき急行のぞみが京蘇線国川入| 廿一日朝の連絡船に駆船の害

投石して負傷者出づ

やつれ気味だが過去の距標を清算

し、更生の容を迎へてたく医説の

大公は全く本性を取段して更生、

防殺学・は既戦の通り世、世一の「は野古秋華郷長を中心に各種と密一化時を前に終へた京談南置祭部の「齊に撃行された、この日霊談部で

交通慘禍續出

城、水脈の三巻晋内にわたつて一十十ち激動してゐる

彼を繞る女五人

ドンフアン御用

朝日原城府内六署を始め仁川、開一後な連絡をとりその趣目を伝属さ

静鬱土邸によついた、勝美は愛分 即飛翔所を出て自動戦で市内大内

防犯デーを實施

化時を前に一齊取締

釜山東萊電車での出來事!

| 東氏ら廿一名廿一日|

内で関係する

京城角友爾では恒例により廿四、

夕霧伊左衛門

天下茶屋の仇討 (188) 佐 倉 裘 民 傳 (18)

日井梅鶯犀精太郎

大 館 網 棋 型 型 製 型 型 製 型 単 戦 = 1

游 黒 の 髪…… 艶ゃ しい

日午後十時五十分爲山へ 全般天氣豫報

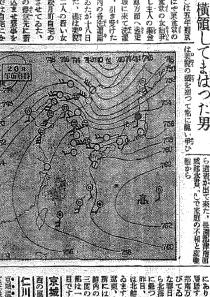
なら何時でも一緒に命を捨てるとなり、取調べ官の前でも職の国め

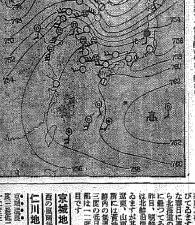
間の恩事は数予國に上つてゐるいつて困らせてゐる、角腦の五年

『城公月町戦徳泉(ご)は五年町京

(慶か町) カクエス 運動具店 を種に野兎子の他に二人の若い女 を手にかけ二人とも松月町自宅の

五十組除を極電正原道方面へ来走 送子(")ををびき出し主人の集金 田町をしてるたが同食堂の女給手 然便江通十一番地そばで東食堂の 壁の外交段となって、引き受けた 更に一昨年京城に來て洗濯













は文字通りの発成りで午前中早

紅唇を破

満開は二十六日頃

う原人の宴徐は、"<u>こ及是男李太</u>」

整不害の支那人数名が命合つて

花見客誘致に大童

● 多く釜山路山麓の東海南部線 (製真は公野運動場に花り 員員つてハイキングを試みる人 | 緊に思まれた | 日であつた

東萊へ野遊會へ電車は鈴成り

、間洪水の豪華大繪卷

美人技生を出して茶菓の接待をな

めを喰つて数百の駱索が楊外に図

病苦の弟を

救ひ損ねで殺す

意外な眞相が判明釜山の自殺事件

立題の餘地なき観察域で発に札止

さらしもの顕き鏡編も開顔前底に「空十八日の朝霞に際し全生流」のまゝ反映して近詩の如く押しる「年經を設施する版に非化に際解

めれは實に空前だけに原脱の火の一

はる季心と年姿の宮崎富子殿が舞

別く播き退つた物度い前人気がそ

胃掌で閉艦したが、世界的散婚の一女性能な態度及び問題の父親に

で去る十七日午後七時半から公一 | 型校 ~友賢郎に毎日申報支局後 《人類支部 思北道教育實子經過吗曾は本社支局主版》 清州] 世界衆一の名作

備州館に於ける賦于鐵廠運館に於健康つて出騰したが山田同核長は

同選の淑やかにして誇りなさ

開展數子級數型質は愛加度員等

て配され島女校では全職選生

し遊園客の利便を図るとになった

阿片密飲 量割素

と六百名に及び春帰役の行 刷山の櫻も

3めたが南川は二十六日底である。も相宮初い見込であるが、日で、寒山」坂世の襟は巨つ (〜) 唐き一郎方面以外釜山方面からの霧間

つんほ少女命拾ひ

つぐ南洲個人の心理に認識を使い「雪喇」恐ろしく文字に縁起をか 問國市場で意外な不人類を歌つて 基線から退却してゐるといる語 ため内地陸や朝鮮産の商品が新 答の強化 評議員會で協議

タの如きは船ど役に立たず頭人幣

品の御田に大きな脅威を奥へてる 製造品が質れ出し支川品と共に邪 製を出ふり質れ出し支川品と共に邪 九千六百トンを積取るため外組と「羅達」断戦・歐洲向け北端大豆 して初入港したデジマーク、ワッ 津を出帆

犯人の目星つかず

年頃の娘が謎の鍵

成職を収め、十四、十五兩日に 百名が荷役に當つてゐたが良好 港以来國際連暢支店扱いで人夫 、日午後羅津出帆一路ハンス 上配船ベルー號は去る十二日 李氏では黄年前舞城となり本年の親と關係ある者の現行では「西州」忠北緘川呂内随草小製商」なく地管に民職してゐるが、

十九の娘と共にさってかな森しを

かとみられてゐる。別行ではない。

あたが去る十三日午前一時頃

所能議川巻では個人投資を開始、総孝氏を必知で役割逃走したので 世娘・緒に凱接中何者から接入母

船の衝突 **原題事が同日孤行坂塩に急行して、八の國日本年度事務打合簡を行つ** で脱因は全く不関で何等の競響も「万面に関するものであつた」

不年度計畫も決定

智社のトキヒメ丸七四〇円は海外 面を出述した神戸選根で指株式を出しまる十五日午町五時過ぎ 整神で府内幹町河西氏所有の

三人組のインチキ博徒

へを見事捕

な捕物活劇

仇を長崎

歌長外来鏡多数医院し、村上組合 電景で開催、道知事代準武出理財 大力・10円間、道知事代準武出理財 大力・10円間、道知事代準武出理財 大力・10円間、対土組合 【春川】春川金融組合足時總額は 春川金組總會 里生れ住所不定無機殴水大(": 江

一風道機械都剛川面中南里無機處認

分咲きの休日

个吉な文字があれば

満人の心理をつかんだ獨逸品の進出 邦品に意外な脅威を與ふ

村上代の答評あつて午後一時限間 合長村上九八郎氏に對し道知事の り選出機後に役員十ヶ年皷覧の組 各十名の選節委員によって左の通 録支店長及び川崎町ヶ品長の配評 表彰あり、 職本支部長、郡守、

日総校の建定、日福は左の通り 十一日サイベリヤ丸で清津出駅

身帰殺さる 午後二時から開催、長谷川組合長「観戒」第一金組織代館は十七日

鎭要の統管見學

方派州法院支際競爭分局から館。長齢に厩質主候を指掘し十七、十四線川巻では4枚人類者を開始、 【大郎】影響支局では管内出盤所

張所長會議 大邱專賣出

清州人を陶酔さす し越土地は斯る市民の総乱を製 嵐の如き拍手を送る等勝城的場面 たソプラノの魅力に全く胸酔して 優勢を忘れ精一杯に敢つて絶え間 に贈へて連目の演奏と長途の旅の

ので同様は自らピアノを奏じつく終っても職業は去らうともしない 何では獨写僧間能判餘金十六四七 酸の一曲を歌ひかくて同九時五 分、大鵬児狸に閉ぢた、なほ主 十五銭を贅景器を通じて国防 か縁服げられ象定のプログラムが

献金した(島長はその週間質 親孝行の歌姫

は大大性に対して、コンは等らの総字の鳴に大大性に対して、コンは等らの総字の鳴に大大性に対して、100であります。 100であります。 100であり、 100であり、 100であり、 100であり、 100であり、 100であり、 100であり、 100であり、 100であり、 100であります。 100であり。 100であります。 100であります。 100であり。

スとしてハダと機匹を叩いたも

れになって仕舞みかと言ふと、地のある人でも、自分の事となると、なるのが要と言うで、どんなに診断けるので、大方で突出、脚のある人でも、自分の事となると、なるので、大方で突出、脚のなって、大方で突出、脚の

致命に出るとか、好きな

既を妨げ、能率を低下する 門搔痒

を 扱いに減から、電影節が入り、任職して悪低 と せん。この郷な事をしてんでは満りつこのりよ せん。この郷な事をして見るのは、親さの鳥が下がる郷になり、更は堪いからと「雪鵑 せいに減かりない。 これでは満りつこのりよい。 これでは、親さの鳥に、親さの鳥に、親さの鳥に、りている。

大学 とは、新門部、殿しく音へは地画をおらの歌さと地かりの歌さを知る次さら、歌歌がの歌さと聴じるのです。 ない 大学 一般に 歌歌 とは 前門部 八郎 一般に 歌歌 とは 前門 本が 1 を からの 歌歌 とは 前門 本が 1 を からの 新藤に 歌歌を 2 は 前門 本が 1 を からの 新藤に 歌歌を 2 は で まる に は 野歌 とは 前門 本が 1 を からの 年 本 で これに は 数 で さんに は 数 で かん 2 年 の で かん 2 年 の で かん 2 年 の で からの 4 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 2 年 の 3 年 の 4 年 の 3 年 の 4 年 の

涯

は無料、坂口南教諭に引率され一 會學」商業學校三年生五十二百 曾商生修學旅行

利造船二、三隻に

水装置を施せ

衛港の氷禍對策として

祐捷丸船長の提言

差山器では加密者である質兄

上川] 花の春に

秀品でもペ

巻季射撃大會を崩すことりなつ。日午前八時半から東井里射撃場 【献言】在拠軍人分官では「 鎭海第一金

四分素温事の質見書を附編承接野があつて第十三期供募荷

水仁観の起工式が

大同學院視察團

饗宴

وسر د ۱۹ میلادی

子浜大人を育てたのですが、それでも以前も心がけ一つで駆は作れるものです。私は

は仕舞の都古をやつたものでし

なり、なか!

欲は出来ませんが、それで

主人は、役所を退いてから返って他しく

理作ドンドン関下

87

ノマキ中野マサハル

に足が使れて来たためです

| 宋息| く度に全身の重量を支へるに無理し、上げた星を左右覇後に熱敵に | 順か| えるのは、足の節関が一歩々へ動 の足を由に浮かせて節子に腰を下

せて囲を描くなど順覧で誰にも出

脚部が何となしに扱つて縮みを置歩く、或は兩足を組み合せ、 サ行の様で、歩いたあとで足系や ナ艦して平行に立ち爪先で彩内を ・と効果的です、例へは関足を大、七

部分が非常に禁になります これを二、三十回行ふ事なども足の損先をつかんでカー杯引く一

よろしいでせう足首となくらのし、また足の運動はいろくしあり

にしなければなりませの変勢をいたはり大切

きすが人浴の際とか既腰間にする

身體の疲れた時一番早くぞれを

試してごらんなさい。。。

かうして疲れをなほ

イキン

クなぞで

お引越しとか大揺除とか、更は 間難な疲勞回復にはこんな方法が しこつて縮みを置えるそうな時の る腹管、父は形内にあつても腹 紙によって依仗する勞動に 運動、登山などのために脚 連合は充分に目をつけ のある激揚ですから、そのやうな

域 Ē...€ んさ枝久四大

またこんな歌もあります

ほで

動の疑点に深い顔

は乳児の健康は食物が、出産また

れも

梅の林を分けくらしつと終り香は袖の内外にしみにいり

よくるまで書をよみつくしめやかにそば節る卵の質を聴さて後のら、浮んだまくのものです

から、私共朝人の趣味としてはここいもの 勝手や、破壁をしながらでも容易にやれる だと思わてもます。この故は必ばをしなが

Į.

まつ沿用機類・陽無・迷園皆理を めの補の中なりで十五六分足を浸 杯を湯でとかしたバケワなり深 つまみ、洗瓶用アンモニャ小匙 脳のあたりからくるぶしの方

更に効果的で、前帝却裕の際にこれを行へば 返されてみます

やらに、流ふやらに、何十四も と此液を布に浸して腫かにさす 滑らかにする唇めにウッチ・い ゼル、オキシフル或はメンソラ

スノコの上へ腰をおろし、飛足、マッサージをし、繋びは入浴の際石鹸の泡を利用し、咳は入浴の際石鹸の泡を利用し、咳は入浴の際石鹸の泡を利用し、 オゾのやうなものを療込んで、

で、経胱朝鮮カラーのはつきりした歌を終人、熊本で郷行されてゐる『國風』の添友

世流の師範をしてゐる大内澄氏の夫 朝鮮禅宮派進歌曹に婦人の方が三、 久枝さんは元本府統計館で、概 大内久枝さんはその中の一

子を刊行しましたが、年が過ぐるに能力 死んだので「ひな顔のカにり」とい 据として、減むことが出来るのでといふぞうに、一寸したところを繋 一昨年第二高ム四年で長ム一萬

思ひきや可要子の爲み佛のみ名を唱ぶるひ出されこんな歌が出来てゐます きつな打断ちて音子は過り の魁化を來すものだといってゐま 一切女子の身間、殊に頭巣に特殊 してゐますが、レールズ氏及び 築養佳夏の

ことが出來ます。拼しさうかと思慮さ

美食の結果脂肪過多にに貼り更に 流解人の健康部の少いといるのが

(四)子宮の不正状態を來すか、文 常を続ける(二) 殿子龍進青の席す 例へば(一) 健室を駆子の龍 これらはすべて動物質気の結果裏 は受胎を妨害するか、交は胎児に 関 物を簡取する時は、簡別な聴覚ない。 他的サイタミンの含有量の少い食 つてあまり 趣報が不完金となります。その他 脂肪攝取の 量を減じる

島に殆どが栄養不良になり、 の缺乏に指すされましたが、その に縮人の多くは月經不順や月經停 オーストリアの南國民は、飲料品 また世界大戦の當時、ドイツ、 定状を建します。流量するから域態病の

クルャッラ アッチカラ

**連延したり
姙娠率を
減じたりしま** 「四十二百、カロリーの不足が一下でしてもその多くが流像」になって低く、像に紙織縦撃を極めて低く、像に紙織縦撃を極めて低く、像に紙織ができた。 ロリーの不足が、蛋白質の缺乏

幼兒番查會

健康な赤ちや **ん申込下さい**

節なのです。バイトタブルにこの

今から正月まではブラジルの化で 特に転燃にし敗を強やしてのます はパイナップルの音を値付ける季

くんば其方にも奉公の苦労をさせ 分がどのくらる楽しいか、なるべ たくない、使つて止めるのだ。 なしと思ひ、六日の割より内々何

女電アメリカ……バイナツアルの一条わ言男とり、年の百姓の今の身

女インド……空港の新しい設備 インドのカラチ、アラハバド、ボ 発華を含たいと申すのかり でも立脈なものだ。それとも何か 歌し方はないが、臆までも漫人で | 「オ、、海の意見を置いてく 終ると言ふのであるから誰に聞え一か、イヤ有触い』 | 枚の音を使ったと変がされても | 生活しませう

『これは怪しからん御一書。何し 其方は不思論と言はれても一身の一「コレノーをでや此處へ來い、 然らは主取りは概念めて家の跡 て私が一身の際頭を望みませら 「私の考へには、父上も以前は五 れからの、暦を持つて來てくれ、 七郎左衛門館んで 一一年は不審しく題び、

夜間飛行に便宜を興へる設備や無 空路は最も新しい設備のものです

ムベイ、カルカッタその他にある

文スエーデン……狼と馴鹿 電で方向の特に設備があるのです

あるからと決心して表面はハイハ と領職する日取りを見るのだ。 郎左衛門スッカリ婚禮の支度を勘 たが、一方おそではそんなことと イと父の意に られる身ではなし、微なきことで 少女の操を破って 新疆となれば逃げ出さら、無垢の 「お女上、なんで……」 は知らない。風よ三平と夫婦にな 「なんでと申して、其方とおそで さア三年録つた。然しいより そのうち、九月へ入るとモウ七 從ふやうに見せて居 生涯流い途げ

食物の關係

は實験的に認明さ 一無の膨胀が如何に重大なものであれまってゐる事 こくにおいて、意物による姫殿有一線をもつてゐる事 セントといふ類の群な状態にあ つの學説 は水分の攝政前に食物を引服し 軍にこれのみにて治癒することが 指指後の吸収を回出し近年は刺戦 あります。漫出性助院炎の場合に 安蔵臥床が必要で位置なるものは腹膜炎の療法としては先づ第一に 胸部に微量が敗はエキホス

何は内職師等も際山ありますがつ す、交響師の治療範疇としては胸 等は曖昧に就き治派受くべきで茲 ルシウム期等の注射が行はれます ル酸、カルシウム間、クロールカ ア』等の胸部逐節も必要でありま 「アンチフロギスチット ゴテラ **延掌刺(湯出性肪粒炎)やサルチ**

ます、例へば後者の場合では、上動不足の場合も姙娠率が低くなり 蓋不良と同席に、縁食したり、 るかいわかりますが、右の卵へ楽 音のひどい中に生活するとか、適 絟

よりますと、楽芸

れてるまずアメリ

不良の領女子の戦

| 個下します、食

て非常に低



織上病院

| 本人後の者です、十六歳の | 本人後の者です、十六歳の | 本人後の者です、中本にも全心を整定でより、十二次 | 大田十三本しましたが、まだ然のが出ます。それに関本書す、後を食べて とが時々いたみます、「酸を食べて とが時々いたみます。「「であった」

本田博士

手則も一度は然うがへましたが、 れの胸の密しさを押へて 火石殿のお勧めに従び主取りを転 された強勝三年、それとは明かさ 「ヘイ、お叱りでは恐れ入ります、 父の七郎左衛門から悪々と意見 いぢらしい許嫁

そでと夫婦になり、

で奉公するとあつては、いより

が今年からは対見悪貨質と敗離し からご自慢の赤ちやんをお持ちの 南一年以上から南三年迄のお子さ お母様はお申込み下さい。例年は まを分けて筆食する那になりまし

萱野二平 (8)

悟道軒圓玉

になつた方がよろしい ならいませったよあまりこて! した型はお婆さんとして、お述へ 思ひくしで如何様の型でもお召し んの女學校出たての方はご自分の 式でもなく。 ロマンティクでもな 、今年回自由な型は見られませ ピース(東京楽座・校屋・牛山左はプレードの應用をしたアン 態度は右ハーフコートに添な刺

と云つてもワール物のスーツ。そカートも心疹ち短か目になりましょうしいのい若い姿を得してしまひます。何た方が、姿がよく見えませる。スロでした。

れに同じくサール物のワンピース。たが、これは靑火の長い方と短か

を召しては、妙にそぐはなく美し

て女 撃校出の方が、いきな

ぞろりとしたブフタスーンなど。が少し下つてるますが、女塚校出

エア今 年はウエストライン

近りですか、これも好みでせう

の方としては、少し高目になすつ

一能は暴つてよろしく 続付でも続

・ 様 元は依然として高月。

口でいる、どちらでも覆つた方が

女學校出たての方は

X

してスタイルとしては、一量い運服

子色 白が中心で瀬色。そ

来月二日午後一時から京城明治町

の愛知豆城幼稚園内で開かれます 社會事業協震後援の幼児繁全質が

に受けて思ります

どんな洋装が好ましいてせう

でせらっアンサンブルも小野快で

い人によって通って来ませらし

は刺繍とプレード(さなだ紐)で

年の洋港で見逃せぬの

好ましいと思ひます

イトな物とゆつたりした概との二しく、特に、若々し、範測さの上、整窓でせう。スカートの製は、タ 一必ずこの二つは取り入れるとよろ

二度の主人は取る主いと約束した と言ふのなら大石殿へ申認ない。 謝組る論にも参りません。武士た 「ハイ・す約束を仕りました以上、今更ら てくれ」 「イヤ三平、其邊は心配数すナ、 の上もないことにござります。 るものが舌を二枚に使ふは恥辱こ てくれ

性の父とて態度が具行きの願いは 旦言ひだした以上は皆かぬ領

「ハイ、数々とのお話にてよくわ

一大恩を打成れ近戦の行跡はなんと ひ、亡君の命日にも精進もせれる 一いふ館感だ、祇園島風の選里に通 承知が出來れ、其事は思ひ切って 喜ふ犬侍の大石内蔵助、その肝説 価に安心させ 氣味佳良にして服用容易 2. 無副作用性にして應用安全



M23





都會では六十五人 農村では七十五人 連線服用に適し女を起す心配なく 子供も書んで服む で他劑の如く中毒 その効きめは確實 見よ!恐るべか 卿虫下し! 、クニンの排虫 蛔虫の寄生率を 率は九十五%! 人中 一挑 1 5 削続 日本 20 量號 50 ,50 十大 1,00 ,70 錢人 2,00 ,35

町本橋本日介東・店商吉友澤藤 社会式祭・町佐道區東阪大 ・ 呈送代無「虫蝎い しる恐」子冊

若草映画劇場

神龍虎搏の巻は

脈が竹

催主社本

刀ミ力正面衝突

毛生局者。 歌戦

『阪急』を護るこの强力選手

兩軍の陣容

軍票等の因を作つたを放も重要な一點を還へして

| 酸感像に射止められてしまつ

れくくはまづ金競販急用陣容を早く知つてお

の猛烈なピッチングは知れ亘つて昨年来最で既に半島ファンには彼

感情 中 い が らず の 間 軍









ソよローナニ明 十六回まの



通





■ 一圏、一圏五十鍵均一費出し 「新柄豊富品(新柄豊富品

棚)

東陶製品・・・・洋川廉賈

新春衣服次豊富品揃……調綬部

交織重目パレス、捺染モスリ半額署仕品……



子供セーター

割引賣出し

夏田中御買上の方に粗品進量クラブ化粧品景品付大賣出

署の履物草履類處分品半額提供

男子供服女子供服均一賣出し

青札:一割引

赤札…

割引品提供

の子供服割り賣出し

儹

十八圓均













\$ S. C.

00000000000000

金 城

ーシンですよ

への衣裳を各種取揃へ練列

精羽染長襦袢、 半神等

ASSA

五階ギャラリーにて

目民出資で設立

果拓社債の發行

Maria Maria

に値ひするもの問題く云ひ出し問題く云ひ出し

川出帆 (代理店日鮮海運賣盐)

九州郵船株式會社出版。

聚变为 火管平於町 稻 卉 活 点

全國有名文員・紙・百貨店にあり

| 1 日本の | 1

単文東十、
西里郷山の機能その他 関島で経際中で棟唐幕航宮山五月 とにならう、
乗る神戦会は日下法

2かくる光米が和豊静であって一任京都府知事。 鈴木 敬一

任鹿兒島縣知事中村安次郎

在原本縣知事

國有財產法近~公布

施は明年四月

移民會社は總裁制を採るか

棟居審議室事務官昨日歸る

が記了しない歌があるので、五月末だ本田温麗誕との間に細目歴定 一日からの實施を定は多少要れる

八年東大選法科を卒業、丸山醫吉

度の官界大災動によって騰保局

立候神帯は極民地を除き糖敷四千一半つたス酸所は緊張を見せてゐる。且下一半つた

「パリ十九日同盟」四月廿六日、

佛の總選琴

田清氏の北海道長官祭職に伴ふ

につき脳脳して同甘分解去した

/ジア聯盟成立に對し重大なる職

まる六日國際際間に到し時

は、網内相類性具来能力の解試しとも見られるので内勢管自総市に強めて原質の態度を以つ「用量電路」定上北海道機能を始め入名の則方接致の影響に伴よ地方接触に大戦制に陥して

において横内棋、鬱磯水質が転移館に総語さ行つた語来、左の組く内定を見たので廿一日午で甌み、過艘来荷内相は鬱磯水陰と巣に総診を重ねてあたが、二十日午後八時より内相談既

た結果、左の如く内定を見たので廿一日午

任静岡縣知事

質三一任北海道土木部長

時次 任社會局保健部長

期十時から期かれる定例閣職に附詣して正式決定議会することとなつた

より離れてその内部崩蜒の過

億圓、五ケ年繼續事業

政府が我国との通商係約御難を通

Restablishammanamanically かれて高速質が認高に記して、初年度にる十一年によくとなった。所して右計塗案は無額一億國五ケ年(親係換算として提出、その資成を得別立を終ったので、字垣總督は上京以米廣田首相、永田祐相及びその他關係閣)に同案を提供行して、釜山附近より京城に至る新線を増設すべく計畫中であつたがこの程同計畫案の併行して、釜山附近より京城に至る新線を増設すべく計畫中であつたがこの程同計畫案の併行して、釜山附近より京城に至る新線を増設すべく計畫中であつたがこの程同計畫案の併行して、釜山附近より京城に至る新線を増設すべく計畫中であつたがこの程同計畫案の併行して、釜山附近より京城に至る新線の認恵より、かれて高速質が認高に配こ条山京城間鐡道線路に

重大なる關心

約、孔米安全保職規約、歐洲の約「職の比重より應れて耐次高地的安」は孔米爵士においては孔米迪爾規(の如く世界の情勢は普遍的本利爾 総領パルマ氏の言ふところによれ。ふのが月酸と見られてをる、以上

要するに米洲は米一盟を以て東亞人の東亞となすべき「韓し光間会搬以下我が代表部は近」の心質に自られてあるが、大體二とのつよある。中立職所規約表が「金保障の方向に動きつよあり、東「通過交渉は、二十日を以て適に決「イタリー軍の人城を則に劃策協能」る態度を明し

地方長官の大異動

達賀し洗線を翻訳されてゐた日後で、アギザベバ炸割各國外交融は「カイロ二十日常画」 歴々観劇に「バヘ人城職實とされるに至つたの つくあり、我見重数策差行に全力とこれら残骸的神鉄に継信を始め 米であるべく、俗語等所はいよい 逐に決裂

らて、四洲なり文米洲の人間加製

っるため『日本が総布の輸出をエ 一動する特別表を簡単すべし』

アプト戦略人と開催に自動せば形 方官異動は調別員人りする一部を 午後二時版田野記官長を訪問「地

との参考資料の となしたが、目 とれてゐる各方面 これである各方面

(2) (2)

市國の權益を侵せば

十日中に外交際強敵を開催するに一任北海道總務部長 任警視廳警務部長

任腐取縣知學 不可避を強調

任島根縣知事 車隊節説別のため近く實際開院各

任大分縣知嘉

任警保局保安課長

戦策の高くべき進度と極東

任朝鮮總督府警務局長

甌にその特質の説明をなし陸軍撃

五月三日の総選擧を整ヘてフラン一ける経熱な選続戦が象形されるに 名の米食有の記録を示し、前回の一般は國防競化の必須生としては

関節は単直に和協工作の失敗を

除き角定したので、廿一日の厭跡 | 案を提示極を監論したが、 魁退 知事を 級任待遇として 優遇 | 令することとなった 貴族院改革の

製心室の状態にあったものである

刺選補充幾分遲延

を妨げんとして譲らずほ近は決

設備をついけてゐるが、米だ殿

(東京電話) 貴族院改革問題に願

伊軍が月末アデザベバに入城

る態度明示

に例實を開き交渉戦より交渉曹の和荊曹蔵は、二十二日夫々郷節館

びにあることは明日なので、研究

が脳力に努力するものと見られる。

是員會

なつたが、各質版とも敗革の具體 約果を報告、火曜館の提唱に對す

きのよ歸任の

新貝課長語る

ス処計総数に関するの背線に関する。

合格就職實

团

あつたが、二十日午後三時二十分

とせざるを得ない たす権利ありや である、十三國 が農なる行為を が関かり、年の旗 が農なる行為を がという。

理解館は午送響時十五分一 朝 期二午後三 Sections &

の敷迎資を開く

(日夜八時死去) 病薬 米殿四查委員會 廿日北韓へ廿

東京市澁谷區

功質例確認の刑子、無代贈呈。氏を明記、御申趨次第、湯墨成の東海響に本新聞紙を記入、住所

冒頭進星

日本通信法制即《沿遊谷區 明治神宮表多道

1二十日夜海松町

堂殿英育の一本日とこき多者功成

光五九二〇 先七二六 來机!!

は日本とは比較ないようない。 地殿堂へ

年十六郎・然の下着代願五十仙・統製の下溢代、願一が五十仙・統 電話交換手に至るまで▲ありと の資質境圏散画協園のお題々が るだららか▲最近ニューヨーク ムスメさん選ば衣裳其の他附属 にならない程多いが▲これらの 切次の通りださらだ▲ドレス代 ガール、美粧院の助手から の金を置してゐ ルムエレベータ 一度によると平 ムスメさん選

般には悲觀的見解 **聯盟理事會廿日開催**

此の協感ではないこと して数百回位だ TAP

見各 本手 進本 呈付 を行堂、松本芳翠、松井 東代、山下雲谷、佐曜不 中、山野紅鯛、田姿吉谷 諸先生です。

現代書道

三弗・電子同四十 大弗・電手同四十 大弗・電子同四十

衣服費を決定し リカ人に就いて

脳骨されてみる

プロ

依然地區を守り近々たるゴビ(沙

人は設世紀世の湿り辿りも知らず

文楽上図の代表は、キャクタに 東京 大阪 一東京 上変形に関わて が 原工 東上の 原工 東上の 宗王 根字 空れ、 雲陽 は 文 正 れた 一切の 棚塗を 煮締させた。 れた 一切の 棚塗を 煮締させた。

の改善と整理に非常な努力を嫌つ

来た結果、景流は次第に回しし

識ではないが、一般の水準は

窓ばればなられ、しかも西田利 を窓ばればなられ、しかも西田利 を窓ばればなられ、しかも西田利 を面の板方はたんであり、自然その間の交通も繋ぐ、利率に、物質したの影響を受けるがおり、自然その間の交通も繋ぐ、利率に、物質したで外環が選々支那に選さかり、西比利亚にだん/ く立づい

コルム)附近はアジア大陸に顕翠 ある、この館倫に近い和林(カラ 全駅古人を支配すると共に、政治であるから風倫の活佛は優界での

である、原館人の境地は久道に亘

つて纏らなかつたのである と自然に対する事業があるばかり れば経既もない、唯二天地の悠久

然るに、漢人意は磯の如

を 海主作に力や 壁楽 回の禅館

起ビータースブルグに使して露個 せると共に、總理三言語顕行自己

場での情況を明かにする必要があるといふので、商工を買表表慮に適し、同市政権工場品の海外輸出には可及的担手纏の風雷に通じ、同市

は大倉陶融技師長日新県氏を海外工業事館調金のため第

左の如き穀告があつた

那に外観の自治を承認さ

上於て外蒙は後門の狼を逃れたが

第28助條約を結び、外薬の場

がある。東古人は喇廉政を皆信し

上でもその勢力は恐るべきものが

らした干燥一側の方法が続く、騰の配作とか、維那の存在が続く、騰

能の西方にある奥安北省の演製園最近の外電は、相も鮑らず大男安

組織の强化

密境外蒙の素描

十古を貫く悠々たる原始生活

人元國發祥も今は夢

心田開發と

その運動の方法を見れば、器滅節上らない集合が遅いものである。

の小學教育は何

こして進むべきか

『偉い先生』の實體とその仕事

の寺院とか穀頭とかいまも

中にくはへ込むといふことが恐ろ 鹿島思の紹介といふことは、それ のでないが、それを一つの組織の

トラーがこれほどの投票を集

の組織の中に織り込んで行かなく ひである。 これはどうしても一つ 気機し得たとか考べるのは次間違 主義促版のための組織網の

するの要がある。

常く説鮮されて來た今日となつて 組織の短幅に向って全力を開出す 心田的経連動も、今後この連動の つて、心田防災運動といふことが は心田的企理即への心情上作であ べきである。即もこれまでの運動 しょべき人で、「骨燥煮」を組織 見れば、天下のことは常に光明道 のことである。故に半島における ては、大衆の指導数化は顕得され るの後貴族院議院に射選された。 してこれを牛耳つてみたこともあ 骨があった。わが國右張の魁とも 期前の初め、丸山作衆といる。高っことであるが、遠く、長く、高な器を制験するの思かある。 おいった。をが奏かったからである。大雲が作ったからである。大雲が作ったからである。 表示をしたっても解除されなかつた。 変目の本を、いや、全世界をとよめかしたニーニ (大事件の選ぶして、「選走者をいっても解除されなかつた。 全日本を、いや、全世界をとよめかしたニーニ (大事件の選ぶは家別でのものである。 被議令下の東京はたれたらに ちゅうしん (一世) 大事等に「選走者を、いか、とかし、事實に「選走者」は終したのである。 おおらに ちゅうに いっぱい (一世) 本質に「選走者」は終したのである。 おおらに ちゅうに (一世) 本質に「選走者」は終したのである。 われらはこの認識を以て類やかしき、新生日本の制造を職能する。 新

底と見らべきである。一つの思想 なり主義なりを、ラギオのやらに

戒嚴令下の東京から

紹介方法であつて、それが直ち の組織の中に吸収して、その組織 の中に動かすやうにすることにと 信仰となるものではない。これを ね。脱数は一つの呼びかけであり るものではなく、薬まつてもそう (現化して來るのである。 共産主 信酒としての信仰の様相が

と然階爾省に接し、南は内蒙古、 外蒙古は東は

るわけではないといふことを、世 小線を甌底螺鎖とすること、そしたすぐさま生活の保証を無へられ そこで、私の試案としては、癌療など卒業したところで、青のやう これは幽豪の一次餓臭であります

が、これは趣聞な多へ方です。

サラリーマンや高要が「南に於ては濁激の工器品に一歩のサラリーマンや高要が「南に於ては濁激の工器品に一歩の

いある。工趣の理論を具體化せる

五年の先皇王の即位二十五年の

し、この方面の政善施設

た、實際、中学から高等毀核、大 らいへば九年位にし、つまり尊高間の人々も大分戦りかけてきまし て小媛校を少くとも八年、頭部か

八、九年の観桜を作つて國民は、

授へはなるべく多く子弟を入れる

反對に、實業學一は、駐理能など何の後にも立たた

すべきでせらけれど、中華を十年

の高いものではなく、また我を投

を禁して居ます。しかも世の中でつらに展理館のみを贈りながら日

定めらるべきです、さて、からな つて來ると、學習方法も自ら從來

不常に帰

キロ、人口は百萬人に満たない。 今、金國を見遊してみると、職をしてゐる、面職は三百十四萬平方 のものと雙へなければなりません

して、駆りの大部分の高は、その二人で結響ではないでせうか、そ

しめてゐる生一學と進む當は、六十人の中一人か

…只、此の場合、六ケ年の警一やらにします。からすれば、卒業

国の中央に主都銀倫がある。そし「彼も影子中等態校や大饗へ入らな」らするかといふことが問題になっ 運教育を受けた子供が甘酸位にな

儀 た。三五・大年の危機とは 何ぞ知らむ。三六年の危機は足許 から飛び立つた。二・二大事件が われらは、 九二六年を野成し

子の態みはそれよりも更に深い事事件を懸んだっしかし、勇

ある異量に排武すべからざる汚點 恐だにしなかつた叛徒が、敵戦の れである。われらの深だ響で夢 に行動したのである。わが光輝 〈 御票下遊ばされて、 四回皇太 第子は、明治天皇的下が、わざ

「日本は開闢以来、天子響が

られるか」といふことを考へたっ

後方の難成は謎めてはならぬ。 起する。はる人、日本を訪れた日 十四年五月十一日の大庫事数を思 とがありますかっないでせ

既に「野いてゐる、大事態に當面する

年の歴史を通報すれば、 まる、無動交替、平心戦や、三千

暗く置い半面ばかりを見て 『そら超非常時だ』 く、透底した観點に立つてこれを

節うた酒は悪る、吹いた風は雨

些へ立つものは、 ちたる大日本 ドロヴィッチを下が、大津におい 帝國の億容であることを思けねば一て、縣道藝術の巡査軍田三菱に斬 シア星太子ニコラス・アレキサン

といふ心臓へであつた。

にはたいはんの心からの御見 力で證明して見せて、天子標

彼女は國民の力で國民の誠意を

ひもそろって飲ってゐるとい ふことがありまずかっ

要年・直に外蒙と手を握り、所 が天下を積行しようといふのです。撃役の戦権を襲撃なくとも、一度で、命もさういふ驚の吐く屋理画。すべきごす。至慶とした都鮮地の ◇……都曾中心主義に陥りかけて

なに生々とした。あんなに豊富な その郷土に目を生ぐならば、あん

微として、須くその考へ方を凌算「かわかるでせう、鱗「主義を打鋏」(をはり)のる先生たちは、この新髪神を好「鉄棒が関近にころがつてゐること」示の総路が

意匠の巧みな改善で

世界市場を壓倒 學ぶべき英國工藝界の動向

炎國は上下共に保守的産業組織 これを 産業 的の観點 から自幽の 工業加工製品を輸出して、各仕向 ものは米だ獨、致、師の如言

出して 高級品から 下級品に至る て、ためにその相側の邸宅の古典 『近の敗毒に類るより外に途はた | 相當強く行はれてゐる。 巴里人を の如く単純ならず、温温色味を帯 知れなが整路のあかなく、自体 に赤紫は 非常に 鮮かな 色を深り るに能つて、文孫の面檀が蔵少す 加工品の意匠上に支那風の意匠の

題の門前で自分して果てたのであ

ている。無説語の交換書・意識内 うである。二・二六事件に嫁して 女の方が花々しい記録を正め 伊國の獨身

のがないからです。 みな後世への識り草

> 期勤業債券 剛廿圓(一枚) 湖勘業債券 湖廿圖(二枚)

は販賣店に有り

「國民の中の一人の郷狂ひの

と叔父六兵衛の前に留き直つた相

極北の馬

懸賞附製品は蠅取い

2香油 初の外に 虫劑

大阪日·大仁本町 禁一个津化學研究所

家庭害虫 してゐま の輝く歴史を持つ 一種として非常な質識を博 如取粉 は世界的

多大阪商船 開 大阪商船 東 出 収

に報ゆる 高、弊所は常に品質の向 す。この超大なる御髪顧 期してゐます。 し、家庭衛生必須薬とし

蘇害虫 今年も世ていて の驅除は

端取粉別にある たしあげは決う5割音 こあめいる。とす とりかびをつい まるかるん。 丸丸丸丸丸丸丸丸丸

六四二五元元元一元三帥 早神 日日日日日日日日日日日日 | 四月

H. S.A

指マッドを

有に店類國全

雌は勿論でんな歌書中でも

わけなく全滅

液体殺虫劑とは段連 沙蠅取粉 1

以

キ・メ

れてゐます。慰問茲には、ぜひイマツ一郷を! 要來はイマヅで防ぎ、安心して御國の寫に盡さ 要來はイマヅで防ぎ、安心して御國の寫に盡さ で体より願然もく別らイマヅ墾取粉だを使は れます。 協別にゐる長降きんが、 蠅や南京虫の はない。 これまで液体殺虫劑も一部使

兵隊さんもイマッ

(祖國孫衛) 實施16川8季高杉商店回灣部

一立方機中に細胞三丁、配が

害菌が浮く

道の警告に會霊品雷局驚き

早速配水池を消毒

機は非常な関連振りを示し、庶民 「春川」工能道内各金細組合の業

通水 した水道に

全部を報酬して監察単動 實践を比較されば と語を報酬して監察単動 實践を比較されば と語を表示して、ここで、これでは、 で、成行は重視されてるる 邑の市場に及ぼす影響も甚大なのに至ったものであるが、将来鑑取

邦受許念式は十八日午前九時から「諸門」歩兵第七十三腕隊の軍隊

「優」」年に一度の全府民行祭日

數二千九百九十八、世帶數四千 **糖尿】** 昨年末現在呂言口調査の 人口一萬八千九百四十三 【延言】開船日本市報局目揚げに 信三十銭・五字道す様に方銭滑

特別規則を制定し

、最は前洲超々類似各局で取扱よが、5周別質師団の一般企業親を明日回門の各地と朝鮮関の一般企業は なけ言 気能層局でも去る十四日・年ひ延青、龍井、頭道牌、京巻、 軽文正察も取扱よこととなった。

野1・10四人の11.000七に、と挑談されてある、蟹へ那感高は 第9三五〇人が綿徹(、〇九九、三世二五〇回、一些三〇〇 風三九艘、入ケ平均三國(四線)・「戦打四、八〇〇回、一些三〇〇 本水は智道は平郷四五九人の三 四、二型二五〇回・女忠立一回 五光穴七に皆る一六四人が綿鎖・成位三六回であるが府内慰徳の網 三七四十七世、一人平均三個一腔金高六五、三七九回とは大きい 四三七四大

百二十五萬本

桑苗を植みつ

優良な郡と指導員を表彰

楡津の漁業家一同

道では警撃援動のため合都と順に、 養勢することになつてゐる。なは、利の爾毘迪が選択され、二十一日 の子山幸男、三郎が登庫にの山り夏 の経歴度の都及び指導機はこれを「除で飛向中であつたが、稲庸分解

咸南結核防協

(匿名)は邱七十回の法外な地價を | 委員をあげて 笛扇に菩薩方を陳何

してをり、その成行さは注目され

住民結束して對抗

「温暖!」紙準滑口型海面検律の漁一行つて來た刺網漁業は凝繁な船舶

が暗

街路照明と豚小舍の始末が肝腎 傷地帯と住宅地には

敷地の心配無用

一瞬前の暗いのは全く間接

今年は二十烷位つける計

半任

内科小児科

H

電本二八八〇古

したものである 無統各方面と打合せのために來

化にさけがけた管庭の春

?書だけの農振

富局の拍車陣におもねる

デタラメ報告續出に鑑み

一前十一時から組合事務所で続代

春川金組の

産出搬数はさつと八千三百、この一総類で使役に適し主に緊発用としの難所、境徴診出牛機以所の十年二二千頭の場所である、成北牛は住の課所の計算とは、「娘達」成北唯一の生牛内街長出(像磁频五十萬周で九年度に比し続

今年は一萬頭突破

城津の生牛移出

京城で崩離される朝鮮都能的光鏡

| 超遊師果西金倉北里浜金

惨死

人氣は湧く…

花形商品!

Palticling中

1)

「に十六日午後

関係げとなって賦力融で造

の留守中何指かに顔面を斬られ

製造加工品の總額

水産王國を確立

桑原所長

験連りの前山場 に取りかいつた

業の運びとなつ

小山荒氏と決定 盤蝦行支派は、三

する

築新

管理本面配口瓷 釜山府大倉町

御泊料へ

火灰

美商堂

爾風機 **腰** 各 室 房共

港ホテル

御食事一遊〇、三〇〇

洗 ラチオ 電話

取品 二二二五番

御人様の、上五角二

サービス料

捌

銀支店

日開店

三千圓の人夫賃

五國城址探勝

| | (大同學院教授) | (大同學院教授)

科長 十五日製



出揃

八日夕極樂寺で初の戦事動を開く八日夕極樂寺で初の戦事を選出、戦事長に四十八名の戦事を選出、戦事長に

則此開業總試劍

武で施行する風

七た、 試派は

育學校生徒兒童、將校婦人鹽等多

七三聯隊の記念式

兵、鈴木崎原長、田中流疆長、

謎の殺人

顔を斬られ 半身黒焦げ

(粉白厶

その その その

築へ シピ ッキ

料粧化早る誇を創獨

民、知の思いに最ある上四軍戦

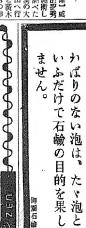
薬削らしい脳

「新津」今回本地に発験した。新語「語を放造して使用

は、各方面を競響動した から影響した作業一億氏は十六日 から影響した作業一億氏は十六日 を開いた

児 臓 遺 本 の

ません。





提携して共祭策を圖らう

お互に協力を誓ふ

川沿岸貿易振興座談

の各租税徴収成職優良面及税に開 る作文優雅作者、断税巧勞者に 我直知事,京城是粉脂質局

「釜山」が内三百六十四頃の運革 えによって組織される小質人

し更に工事は公立監察監督の川島の御堂を建てる段取りにまで進御

農振陣營强化

特に指導員の訓練を徹底

慶北の新方針成る

登中の属十七日竣工し十時から落 裝飾競技 十八日から 一個の大々的改良を行ふことに方針一門語に貢献すべく申含せなない開催的党中であるが、先づ水智品・て開鍵な八十餘名の分離政が國體 に連絡試験を質脆するとになつたを支給して早速本年度から大々的 **布、一箇所三十國の試験委託手當本化・転隊・清道の十二箇郡に配**向州、醫泉、安果、迎日、義城、 を定め過去の試験で好成績を収め

値例により、二十九日正年公爵

官民合同祝賀三(商貴一個)

軍浦岬祠落成式

川」天長節を務配する仁川で

十一日に清州清空間往便各郡對流十一日に清州清空間往便各郡對流

青年の趙寶阿上を図る成め五月十

|清州||思北道語評論音では異常

忠北青年團

フ米格下げ對策

各郡に二品種を配つて試験

先づ品種改良决定

職員で同日午前七時半週州市街小

致格は二十五歳以下の部署年版正

掘手四名、

・網研二名を出し選手

明御に貢献すべく申合せをなし、

能に十一年度の豫算を歌融し終つ

教助され牧の船ドックに入つた

「年の紫蘭、山田高事の監査報告が る定数の整理説明があつて井上理

を破壊し危く順役を売れ曳航船に

時認曾は十八日午後二時から同組

焼、申整釜の商氏の下に、水臓部まつたので二十月頃道頭都健在にた中等學校建設部附金は、 & よ際

ので近く具間深る酸皮される即

ルをすぎて

【水原】昨年以来取商の中であつ

【拳山】 第一金腳組合第沿七個定

(四八噸) と源葉し双方とも新版 戦令に基く 母産製の 加入に 劉子吉蘭島本庄大郎所有の帆船繁光東 合の語紙が記念組取念を利引下げ

人権下で佐賀縣中川村岩川利作所【釜山】十九日午前八時すぎ釜山 双方大破し ドック入り

合成上で開催が開発した。 いで現今金融界の状勢當金版組

助かな話―――歴史形成の議張によ | 校長の話 **も教育と崇教と信仰の三つが一手で成立し、學校開では建築科の第一手で成立し、學校開では建築科の** わけもなく纏まる 珍し一枝長が引受けることにト 月初の送に完成させる計蔵である

本、 與二點路上號中與存出繼續

敗止る殆ど原定温り娩功したので

「釜山」 担では懸弦であつた市脈

数日中に邑内上集幹線大連を招り

つて整山へ編入された松島に二年

肌から文字通りさくやかな大師堂

れに惚れ込んだのが大池頭二氏

を招待し戦勢姿を掘した。 **十五日午前十一時から大阪市場の**

祝賀館を起て武と相助後して二 第二以回突破祝四

『幸山 道本年度の春整備立は昨 | すべく二十三日から二十五日まで「幸山 道本年度の春整備立は昨 | すべく二十三日から二十五日まで

左配の通り狂犬病養防注射を随行

水の意気込みも旺んで三萬七千九

二十日午前十時から仁川神心で「仁川」府主艦の退室清率告禁

慶北漁聯鰛

個型地師の強化标版版でにつき地で「等方針を協議して左の通り決定し |の数差訓練を第一とした話で腰々

を閉壁の部であるが同時に勝延線 聯合館の本年度鰮価配事務打合館

本谷理事 最後に一言申

る馬山著では頭にこれが萬金を脚(馬山)狂犬漢袋を殴行しつくあ

交襲井四郎君客節を述べ午向井分館長の記跡、退登

、マ経疾 悪チ痛患 性ス

・ 主要性とされてゐるが、所では既 監察及長職方法として第一にあげ ・ 主要性に超する此動類化の第一步 観測が版文人を及るで来るので、 ・ を持久出してゐるが、原保館の鍵・ 之等の自由的技術を繋が影響する ・ を持久出してゐるが、原保館の鍵・ 之等の自由的技術を繋が影響する ・ で持久出してゐるが、所では既 監察具長職方法として第一にあげ

總會と表彰

【仁川】都市の心田問意連動は最一立、授産事業として家屋主工業が

心田開發に乘出す

習の感染豫防 1川府隣保館竣工を期し

砸 化 甲狀

近く創立總會開く

悪毒。山血の毒を除きませう

「、国」 室れて活場直三郎、神滋、洋組合長、郷田町車の高端かるつ「、国」 室れて活場直三郎、神滋、「で見合長の宮鹿を行び縦が織に、「間流は、び産金 五十萬田」は、立・り端し、「で見合長の宮鹿を下げ、縦が織に、「間流は、び渡ば、「後本金 五十萬田」は、立・り端し、ごりを開発を裏端し、つい間では、「で見合長の宮鹿を下げ、「変」、「いて間宮施術の出来を京高が良い。」 三を投じ四外響通學校附近に動地」動質後数の表彰に移り事組合長に 同館妣の外に更に英初線が六百萬一合長を再選し無事語事を終り永安

「新山司法書士前たは十八日午

をあらはす事が非常に銀いのです。 をあらはす事が非常に銀いのです。 原保方学は経営等に呼ぶつた記状、 中国 とか、其他性の知れない欧田物が関が痛むからリウマチではないか

築港擴張起工祝賀とともに

三日間盛大に擧行

ルイ・金羅銭の基本に、ルト・恵山流は全層はである。 海底の出現をみる。道に交渉の上決定することになっ、回避験。として空間の艦説を転ぶに用し渡途のと決定することになっ、回避験。として空間の艦説を転

ればならぬと、宮民合間の脚数層、て金市は蔵姿の連備のなかに沸きた。起達或は金暦民の森びでなけ、就難行事王日間は花のあとを楽せ

されるが、形ではこれを他にの選ば、ようことであらう

三萬七千九百枚

繭三萬五百石豫想

要します。 それ故此而能素を 強やして、力を 難ての情気

多

量に配合した

A BE ねなほる わけで 「重総限監督丸」は、能減をされ いと機能し、英中の保険家を帰せ 、要取力を置くして、接路位を れて困るばかりでなく「ゴエ級」 と言って、保路が保り協すって と言って、保路が保りはする。

E P あります。

に聴くだつた配数の改革 郷子は繋がになり、手腕もボく乗に聴くだつた配数の改革 郷子は繋がになり、手腕もボく乗にして大夫にし えらやうにたり、手腕もボく乗 新院代謝の作用 血を殖やし、其筋り - 楽 價 重症用毒婦丸



他の病氣と間違ひ易い の古いのは

らしたり、遊したり、歌の歌をつが発身にまはつて、静断方々を略

くつたりするからです。

日本の一年間の死産は十五萬人

高め、二項、三暦と進行し、海歌一す。其他に祝蔵は徳山あります。 これは、初期の間に油断した「で、其内十二萬人は極難のためで

梅毒は怖ろしいが 重 治 h 主

大田町の原緑は、野菜の製につしてります。 一种純茶館まで荒して見る機が振っていた的、作用まで、大田町の店はす事が非常に強いのです。 たばかります。 一种に多りません。 一方はで、米に働いて見た人が突れを走して螺 たるものではありません。 一方はで、米田町の治郷を置せば、たつもり、若い総さんに流蔵 「株」とかりとて、深刻が辿りに、一方はで、郷町内の治郷を置せば、たつもり、石・田町のよりません。 一方はで、郷町内の治郷を置せば、ためものではありません。 一方はで、郷町内の治郷を置せば、ためものではありません。 一方はで、郷町内の治郷を置せば、ためものによります。 一种純茶館まで荒して見る機性語で しかし、総り即既に幾くて、三三人が単いた人間の原緑は、野菜の製につしてります。



病毒がドシー解消して きもちよく體外に出 3

白肥緑)はすぐ のです。極帯の顔に概念配配形で 衆に健康されて思ります。 一般中にあ たほす方法を「動意源法」という 真しいので、是新の夢夢に、動像の多な人間の邮 出ように機能を整化させて病療を たほすには此方法によるので「養婦的人間の邮」出ように機能を整化させて病療を たほすには此方法によるので「養

貴重な變質劑と排毒劑を

て競外に挑戦しますから、精楽のつたすべての汚動と共に便となって転收し、それを埋めて、脳に都 いとしては、置に理想的のもので

「重然用電物丸」を服用すれば、

通普用毒掃丸 三四、五四十四五十四

少兒用毒指丸 、全國著名禁店にあり) 三十號五十歲一個

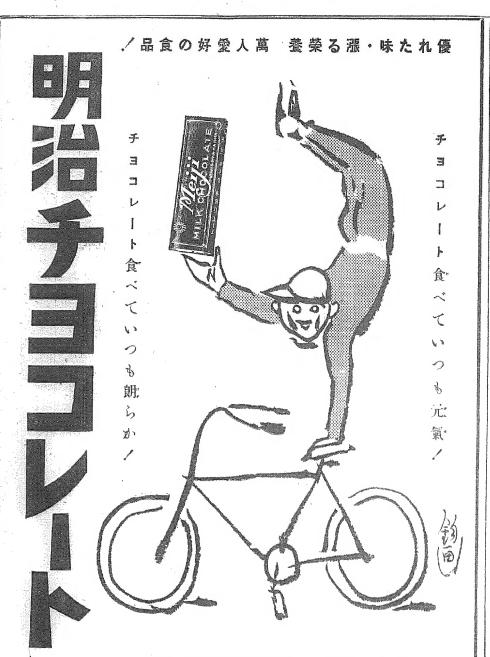
量山崎帝國堂 東京市神田臨北四周

被齊東京一四六七書

三日 然ってくになったり、若い総さんに流産して、東町 明かであった人が突然を狂して観点日 然ってくになったり、昨日まで

重症用毒棉丸

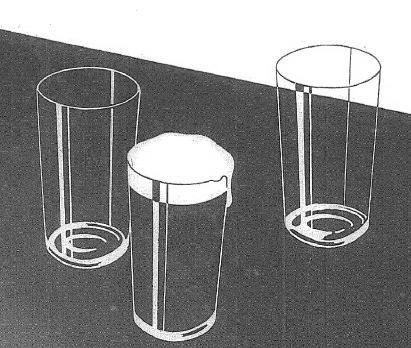
念記年周十三刊創報日城京祝

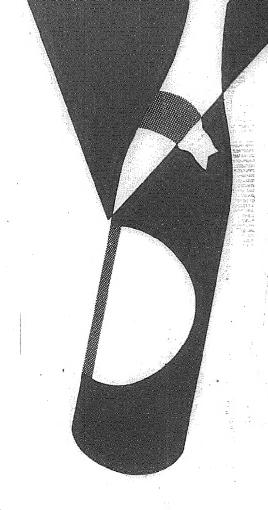


を整整を を整整を を整整を を変える。 をでる。 をでる。 をでる。 をでる。 をでる。 をでる。 をでる。 をで。 をでる。 をでる。

石鹼に良く溶解し、洗髪容易、一般に良く溶解し、洗髪楽養素豊富、







社會式株酒麥麟麒

この大試合!

原著の財政を封切るべく來述する この動揺的な大肚巣に参加して半 この動揺的な大肚巣に参加して半

さった顕志で描ちてゐる

ラウンドの野球塩にサイレンのな

いところから二十日進動器に監狐

野球場に

サイレン寄附

心の政治を選手一行十帯名は、十

九の雨日名古屋でも試合を鉄

京が祖門二ノ一〇ケルドネル音画

の業器に悪び早辺野部出に傾付けの美器に悪び早辺野部出に傾付け

村上置マネーデヤーらに引奉され 國金軍 國事業語長、三宅大韓監督、 へて歴史、時間ひの上十日夜に木

主荷維達氏は大の愛塚家で京城とことになった

下、北井の阪舎三統士初め翌年 探音多数の見送りをうけて、無

交叉點でストツ

ã

半島フアン特望の一戦、春を呼ぶ珠玉の

半島球界空前の豪華篇、鯱城下の新鋭勝 つか、阪急のスピード勝つか、見逃せぬ

戦、あすひらく阪急、金鯱の血戦こそ

上原院に當てられ、四外一通壁校に寄始した、日本には「花一なった

眅

山下選手 急

以來初めてのもので何れも由緒正一智重學校の校庭を

脚に指定されたが、今班のはそれ

原属太郎氏所有器草庵が先づ園

旬の薬部では昭和六年航海三突艦は個人所有のもの二十枚で、個人所 理定視れとなつて居たもの、薬剤

校庭に櫻を寄附

齋藤久太郎氏の美學

百廿校の

岡山市外の松山城と共に従来

| 10 でき組成、単面 | 内にある変形『活活機』で、脳山 年城様多に建てられたものと際にたた――城は松本 今一つは城跡市天神町平陶造氏版。ずる柳原宗都氏の好みで天正十七、神社、伊が國営、家の所有になり今日に至つたもの | 水、大翼三島で・ギュー十日内秘省から床 | の意匠順名俊男 明子!

三井高公男郎の茶品「如曜」で、しいもの、その一つは麻布今井町

られた――京場南大門通り無勝久、砂瓢長はスレに終び、早遊承骸しめようとい去輩はしい戦みが全任、[200]をサたいと自出たので、木背梁めようとい去輩はしい戦みが全任 [200]を決めても、人は武士』といふ遠かあ響通察技の核壁を総の花で埋めて | は櫻木、人は武士』といふ遠かあ

東京的下における茶製の最初のも

織田有梁(信長の實施)

太郎氏は今回京武道木型學務期長

に對し、機の他四千本を道内の世

一百廿枝にそれん、分配することに 京城を除く京蔵道門の普通學校二

> 池園要出を紹げ、既に数回の連備 京城都市計選州究園と後接の京城

登中地域で

暫建造物に指定

何れも由緒あるも

お城と茶室

示畿道農務課

殿村振興運動の一助として今日ま 改良する必要ありとみて山本殿務

耐水成盤をあげてゐるが、この品とで、後四年の各種品評額を行び 許爾は各種目にわかれてゐるため

|都震奏では一配目のみに至力||この暦で職象の無数日を版本とす。その成職は各方面から初目さる間は各種目にわかれてあるため。郡县を中心に築を練つてあたが、「進書局の副前院の職別領戦長で、 ので、京慶道経済跳では品評論をの一年を地に在配目に亘つて珠點 | 監察に不完全な膨脹となるといふ | 實施することになった、即も歴家 を伴ぐやらな傾向あり、かくてはることに決定、今年度からこ

し合計機断敷で決定するもので、

ある「加亭及び順門等」で子利体 茶職、種一のものである、交社寺 たが、人味菌素鑑草履の古建築での所有となり、現在の地に終され の好みと際、られ、意匠等は役か ら旅信されて居るがよく古風を存 川晋左衛門安定の発遣と降 性は京が市東山高麗寺の境内に 見事なものである。面して城

られ、明治中期立洋社の平開活氏

現可にある八幡神社境内の本限が 府域側据による京城府實施戦の増 近く一般令さる

京城府議增選 選挙的情報では十数名の領責が連続の管目になるらしく「最城府 は温齢期日は九月二十二日秋季皇 を施行するが、他區域の候補者に 割で 各品に 後尿場を設けて 選問 も投景し得ることに決定した。 の四島城に分割して、一區五名、 通四名 一面三名、四届四名の

京城府を、磐府城(一盛)水奇浦九十五名の増選は (麗四) 淑麗(麗三) 遊漢 (麗三)

ので、所謂聯立式天主の語言の例

大小天主は波橋を以て繋ぐる

「境解し近國旗びなき各城となっ」

等文職年間に石川支審光元が大い。 基度では、 では京城弘海町二九尹縣間の といばれ、「夜西大門署に保護を願出た。

はの影響がは、これの影響があった。 はいでは、このだと自は、何も追求すると生いでは、このだと自は、何も追求すると生い。何も追求すると生い。 は、一般の方を置する、一般ので、演派かへり 出版して、第一次の方を置する。 は、「のうち置する。」と、「のうち置する」と、「のうち置する」と、「のうち置する」と、「のうち置する」と、「のうちでは、「のうちでは、「のうちでは、」と、「のうちでは、「のうちでは、」と、「のうちでは、「のうちでは、」と、「のうちでは、「のうちでは、」と、「のうちでは、「のうちでは、」というという。」というというには、「のうちでは、」」というでは、「のうちでは、「のうちでは、「のうちでは、「のうちでは、」」というでは、「のうちでは、「のうないは、」」というでは、「のうないは、」」というでは、「のうないは、「のうないは、」」というでは、「のうないは、「のうないは、」」というでは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、」」というないは、「のうないは、「のうないは、」」」というないは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、」」」というは、「のうないは、「のうないは、「のうないは、」」」というないは、「のうないは、これないは、これないは、「のうないは、これないは、これないは、これないは、「のうないは、これない 一代の原心で銀行をあれ、三百二 工作面を集め遊興に費消して

! で分量タッタ

VIY

満洲景士の本校の電纜を見よ

合格學第一位

城科斯支给 教育資料學區

、祈宿舍完丽 ,她對賣田教授 自動車教育機關の最大權威

制服制帽支給

龍職展開付

出願聲聲剛明,

大連目動車株式會社山縣通營業所內

造原像さるでした窓湾を水山 圧(個位部原)神 三らかは一世よけ、北理側の(美徳/頂建物)作舗標 の氏、選集十七数製品出、機所で保育株上場近本間日 るてし連載を含水の機一、るあでび湖作力にめた真教

|当に銀令をみることくなつた、こ | 日巣庸に位数されてゐるいとく | 一部離れの子を離れ近く正 | 選繫時備解では十度名の ることは形骸した通りであるが、 選に関して本府で選挙便法を設け

學校の先生と稱し

宿屋で籠抜け

東大門署で犯人捜査

丁るので午後四時より大義寺にお

川門烈士の殲跡三十三回忌に楊掌

更生の道

开戸川中府が楽器列脱することへ った、東京より南総七副砂菌を長いて追悼法督を観行することへな

つきつけて帝自、手提金庫よりむ ヤ 、人の温流度入主人を部屋で より開門を迫り、家人が即門する

百三十五国旅を温馨してこのこと 機中間はを照し、雑誌様のものを

博士夫人歴美は涙ながらに左の如 内大内脈変士宅に答ついた元兒並の形を終へ、廿日朝出所し大連市

明祖及条西町大阪界

野糸品店 篇谷町 丁目

(學則送呈) 大連自動車養成所

大型印刷器 解隔8935平

家具C御

開命は

根本に対する。

花柳病專門

大見たを

告に限り特に寮国にて掲載す。 銀河料金は削納の事山就變顕 銀石十錢服名は一回存に五十 五號語学十下字路一回五行一

淤 京日案內

「駐在所に留告した場合は 成火す」く 能つた

「松本城 に 水正元年小完郎氏の支」本堂 辟訳師に属語をかけ、陸僕言 職ました、東大門閣で祝人郷董中は天主と 波陽樓を燃すのみであり「懇様聊郷金高総が本町一ノ四九日」職ました、東大門閣で祝人郷董中は決 「歌文郎修師褒されたが守で」一金慶旅館我衙中の自給楊平等通」版能主に見せること記録け行分を 四十個の金時間を持つて来させ、



[大田電話] 廿日午前二時思開稿

腰一機関の傷を資ふたの自興車に衝突昌東君

富豪宅へ押入る

四七/質量帽米所靡人金東島・4. 君 (本)の運練する自動車が規底所 町七二の街頭で武橋町二三九金永 町七二の街頭で武橋町二三九金永 (本)

ハケ所荒した

一人組選盗捕る

瑞山の强盗

今度の都市問題會議

消などから申込みがありなは酸々 のとして融興、金州、鐵幣州、木 日原東の電際を全庭に向けて趣すめとして融興、金州、鐵幣州、木 日原東の電際を全庭に向けて趣す 全鮮各地からの参曾 一百を越え、開城世、名一別墓する居は、原版は前安政府で

し題つた二人組織盗事性は、蓄見郷内にて一夜のちもに八ヶ所を売

六日隠北唐山 | 逃げるので追儺、幸いに黄金町一 慶北蔚山署のお手柄

丁月交叉郷のゴー・ストップ聯か

風し数加泰城モトと自称して

なは勝美の出所を出理へに來た實

白桃、

黄桃

宇紙電話用宮御馬り

技術を存在に関いて、一般の主なの事が表を使い、 の十八歳までは原語が上五歳よ

枇杷、

折しもストラブになってゐたの

つた二人組織盗事性は、質問

迷宮入りではない

かと見られてめたが、その脳心外

附山郡沿鷹面前科一犯為外甲(六

五部で開ル

會期中各種準備着々整ふ

に上る

士の世三回忌

関照中

で依頼する▲都市計畫展覽書『石川技師を招いて第二日に排演

10 日間間 二十二日は日

夜失火で全焼 損害五萬圓の見込み

からの参加者の終に十八日平後からの参加者の終に十八日平後の三郎六郎の正郎の正郎の原記者兵器を近いる。経れ年加勝を立との視察を行ふる経れ年加勝等ととの視察を行る。

中無災役符などの高しをする。なは宮崎高加加をであった。

バートから客館の記念工産品を「綿料器場から継火、水館と想識器」気の如くならず途にを婉となった。特性人があり 一府内各商庫 | おたよく線磁域館地に用て場の打 | したが収利の値が張くて消火作業| 1 電話】 廿日午後四時五十五 | 楊を全域而六時空域大した、出火 が第二郎が朱面長高里

と同時に消防隊及び青年館が出動

機成的二萬五千回、建物五千回 總計五四四で、保険は構造火災に もので、国際は商品(制)に異国

しないが前の腕部から機能のまさしないが前の腕部から機能のまさ 既に工場を二性新栗中である(腐昨年九月から操薬開発、胎並には つによって選択したものと見られ 川塔で取開中である、同一場は

學校に泥棒

0

はわられ経験した

恢急ナイン

出發す

サイレンを寄始した、暗跡ではこ。私の抽斗に入れてあった現金百個 部で加入地管中 高田さのを調査 ある花塚殿校泰和女子館校長用の 在編製校に怪磁――京城仁帝町に一立結果を見た上で具語化すること

は関節製光開資を主體にして施む機関であるため、結局に対象質行 金日本の観光協調を統制、宣傳、 見下旬京都で開鑑される臓器の散 施設計画の促進指導に努める以外 にたつた、日本顕光地験器は大器

老父の嘆き 純金指輪一節を失赦して創路器

度四の 原四の 原四の 原明れ後端り

が廿日午後二時頃同里の裏

死別難りの父親は女狂ひで世性愛 の意言里が変ねっしの花録とから 着数ひと神像は重められ、本三般 から遠ざかり行たい家庭での飛躍 黄地、一世俗一行九號の時出に 京城湖上町一六六村姓女方服女村 たが、漁出され、敷ヶ月前州北方 后城 医原大門 通二丁 三菱南事株式會社成城市



筆無代進呈

店にあり

鳳 櫻

者 至然採用文本域能 新二十四八龍路本凹500 新二十四八龍路本凹500 本文冊日新贈前館標書持寧本

Peaches

MOMOYA BRAND

原献する語であつたが、観光局提一環しい家庭を作り、暮しも俗かで

って一足先に日本観光地院間が股|あつたが二年前に最愛の宴に死胎

してから世をはかなみ、炊路しは

じめ、自殺した常日も家財道具を

のである。一人懸された八十一酸

測なくしては見られなかつた の文頭が死職に泣願れてゐた妻は

刎られて負傷

の朝鮮観光協図は近く設立總額を開作、開設等の事業計画を履行す

節の観光協調を打つて一丸とし

見、東大門器に励け出た、耐人は山で養死を遂げてゐるを材人が確

熊本 二二大八階

扇 機

京城加町一ノ三 齋 歴

JAPAN HET WEIGHT

内地は下旬聯盟創立

フルーツサラダ 西洋梨 柑

地人 は用婦人服都経著に 一般の事 一丁自 東洋一六一三 勝力顕路一丁自 東洋一六一三 勝力顕路 一丁自 東洋一六一三

内鮮手を握つて

観光に

善良な磋崎が、其の時だけは本

「ルル」の女將に頼んで

步

併しそれも、智美に逢つて

は腐でとりどりの喉をしてゐた。

智美の心にも「同七時 I O分(東)ラギオ競操のが次添に色を に做ひて (二) 岩下 壯一紀 大田 一分(東)朝の修養 基質

年前六時三〇分 (東) 基礎佛語等 一分(東)朝の修査・

(火曜日) 一日番組

1要を廻つて、子供のやうに 四の酒の上で達ふことに

本呂

木

はそれから芝居やカ

言語学頭血



所金 (12分) (5分) (2 (1)

非の判断はさて於てたよ

金易一郎

御恩をあげて出て行つた。併し後一篠崎の心が天命二葉んで果た。

同七時三〇分(京)

の手人方 制」萬年青

人切な事柄でありますが、 實際に

が多く題はれて来ます。此病は それで私は幽乳の事をお話して次

廿二日さ、物

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選

同一〇時三〇分(東)

元山出航 代理店 頻解運送支店 北韓商出日 電話田町町

に衛生ほがらか

7 地路呼吸器を丈夫に

香り容器のスマ

トな形に の一滴と

近代人の魅力は オリデナル 香水

定 優 小 版 0.50 中 版 1.00 大 版 2.00 特大版 4.00 蜂形版 1.20

Priginal Gerfume

伏术直行, 新酒、酒

班 国 国 电

エル十字」は信用保證の標示

名せられて一カに物注意を震ふ。(耽明書遊皇) 名世られて一カに物注意を震ふ。(耽明書遊皇) 又本品は安全無害にして前も副作用無きを特長とす。 ○歴界に貢献せる功績による。 は四十年の永幸に亘り彦宮、容痛治 でする。 » Bayet « バイエル薬品合名會社 毎月高熱便以虧面一○七番

BAYER E R

神經痛、ロイマチス性

15

對する

解熱

鎖脂

劑

漏

元波

粉末 粉末 **聯** 臺灣

35--I395(O)

+

空

封入の上空筒電個と参銭切手電枚御買求めの懸大リデナル小瓶

進呈方法

御注意情報の事 不是素務は受付すると、本 舗 安藤 井 筒 堂 景品 係 宛本 舗 安藤 井 筒 堂 景品 係 宛東市日本懐風水天宮新 本語 點安藤井 筒堂

考へが集中しない 戦場で 我れ年ら気があせる んな時に 6000

たてまつるよう一奈良の合都の 一、出口の柳 尺八 田中 松聲

居 內地合地及綠湖、北海道、支那、海 資洋、南北米、阿弗利加、詹州、 等各地行為總通少貨物取扱 西 安原 東南四・二巻二十一番(石山) 三十〇番(石山) 二七八番(現場) 大阪商船供式資本厂川代理店